

統計研修講義計画書

研修課程	統計入門課程 統計実務者向け入門	講義科目	統計グラフの基礎	講義時間	1コマ
講師	赤坂 克也 総務省統計研究研修所 教官				

※1コマ70分

講義のねらい

現象（データなど）を可視化するのが統計グラフである。統計グラフの効果は大きく、データをよりよく可視化できる場合も多いが、ミスリードしてしまう可能性もある。

本科目では統計グラフの基礎について、統計グラフの具体例を示しながら、その基本形や活用の仕方について解説する。

指導項目と内容

指導項目	内 容
1. 統計表の構成要素	用語の定義と留意事項 表題、頭注、表側頭、表頭、表体（セル）、脚注、資料出所について定義、留意事項等について解説する。
2. 統計グラフの基本型（棒グラフなど、グラフの種類の説明）	棒グラフ、パレート図、ヒストグラム、帯グラフ、円グラフ、散布図、折れ線グラフ、レーダーチャート、箱ひげ図等のそれぞれのグラフの特性と、その特性に適したデータについて例示する。
3. 統計グラフ活用のためのチェックポイント（誤解をあたえるグラフを作らないために）	表現の基本（そのデータはグラフにしたほうがよいのか）、よくない誇張した表現のあるグラフ、データの大小を適正に表現すること、0点を一致させること、クロスセッション・コーホートで表現するグラフの差異等について解説する。

講義形態 指導方法	パワーポイントによる講義形式
受講に必要な 基礎知識等	特になし